

第2回四国中央市子ども若者発達支援センター運営審議会 会議録

日時 | 令和7年9月25日(木) 13:30～

場所 | 金生公民館 大ホール

出席者

[委員] (敬称略)

鈴木秀明、野本知津子、石村まどか、大西由美子、越智寛、合田真由美、藤村明子、妻鳥哲朗

[事務局]

発達支援課長 石津薫

センター長 脇元子

- ▶ 管理係 河村清児、加地真大
- ▶ 発達支援係 吉岡美緒
- ▶ 児童発達支援センター 高橋恵子
- ▶ 東部子どもホーム 後藤鉄也

欠席者

[委員] (敬称略)

児山初美

傍聴者

なし

1 開会

部長 彼岸に入ってやっと秋らしくなってきた。朝晩の寒暖差も大きくなってきたので体調面にはご留意いただきたい。現在大盛況の大阪・関西万博だが、先月には書道パフォーマンス甲子園 inEXPO で本市の三島高校書道部を含む6校が熱く華麗な演技を披露した。会場には2,000人を超える観客もいて大変盛り上がり、世界に向けて伝統文化の美しさやメッセージを発信することができた。さて、本日の審議会では障害児入所施設「太陽の家」の入所の基準となる指針やパレット・プランについてご審議いただく予定となっている。本日も委員の皆様には、それぞれの立場から忌憚のないご意見を賜りたい。

2 議事

(1) 議事1 令和7年度第1回会議録の確認

事務局 《第1回審議会会議録について説明。内容省略》

委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。

委員 意見・質問なし。

審議事項

(2) 議事 2 障害児入所施設「太陽の家」の入所者募集について

- 事務局 《入所者募集について説明。内容省略》
- 委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。
- 委員 体験利用についてお聞きしたい。まずサービス給付費を取っての利用は、施設入所と短期、日中一時も含めていつからになるのか。
- 事務局 指定については4月1日の許可を目指して県に申請をしていく。3月中は人事異動があり、配置基準を満たす人員配置が整わないと許可が下りない。
- 委員 そうなると、3月の体験利用はどうなるのか。また4月1日からの体験入所との違いは何か。
- 事務局 3月中は福祉サービスの一環ではなく、4月1日に向けてパレットの職員がアセスメントなど入所の準備を進めていくことになる。4月以降は許可も下りているので、契約して入所可能だが、いきなり入所できない子もいると思われるので短期や日中一時なども活用しながら徐々に慣れていくようになる。何よりも本人が安心安全に暮らしていけることが重要であるので、本人だけでなく保護者や相談支援の方とも相談しながら入所に向けて進めていきたい。
- 委員 入所判定基準にある入所サービスの必要度とはどのようなものか。何か点数化されたものがあるのか。
- 事務局 点数化できる部分とできない部分がある。内容まではお伝えできないが、家庭状況なども含めて総合的に考え、必要度について入所検討会の中で審議いただきたいと考えている。
- 委員 申込が多く待機者が出た場合、その後更に追加で申し込みがあったときの順番はどうなるのか。
- 事務局 基本的には先着順で待機者の最後に回っていくことになるが、入所指針にあるような事情がある場合は、優先して入所させることもある。退所者が出た場合も、既に入所している方全員を対象とするのではなく、待機者の中から検討会により決定する。
- 委員 18歳をこえた入所児童はどうなるのか。
- 事務局 家庭に帰るのか別の施設に移るのか分からないが、18歳で退所できるように次のステージへの準備は早く始めたい。どうしても退所できない方については、制度上、22歳までは入所可能となっている。
- 委員 入所する子どもたちの学校は、小学生や中学生の場合、みしま分校になるのか。地元の学校に通えるようであれば地元の学校も可能なのか。
- 事務局 ほとんどの方はみしま分校であり、高等部であれば本校になると想定しているが、本人や家庭状況によっては地元の学校になる可能性もあるので、その子に合わせた対応をしていきたい。
- 委員 入所検討会のメンバーについて、入所指針では第三者の参加も求めており、市の職

員も入ってくると思われるが、その場合は現場に行つての相談対応や、家庭を訪問しているなどの、現場経験がある方を人選していただきたい。

事務局 入所検討会のメンバーについてはそのようなご意見もいただきながらしっかり人選し、お願いをしていきたい。

委員 最近では外国人の方も増えてきており、市内に住所があれば入所の対象になってくると思うが、何年以上住んでいる方が対象といったような取り決めはあるのか。

事務局 今のところ外国人に関する取り決めは考えていない。本市では現在も市外の入所施設に入所している方もおられるので、最初の年は市内に限定するが、その後は市外の方も受け入れる方向で考えている。

委員 調査項目の日常生活の中に起床や就寝の項目があった方が良いと思う。日常生活においては起床や就寝も大事であり、場合によってはかなり大変である。

事務局 起床や就寝に関することは、行動傾向の調査項目の中に「睡眠の乱れ」があるので、その中で聞き取ってきたい。

委員 短期入所や日中一時については、入所施設の運営状況を見ながら段階的にという事だが、それまでの間は「ことな」にお願いしているケースもある。「太陽の家」の短期入所や日中一時が始まるとこちらのサービスを利用するようになるのか。その場合「ことな」は使えなくなるのか。

事務局 短期入所や日中一時は制度上、年齢の指定がないので、「ことな」も利用することはできる。その点については「ことな」とも相談しながら進めていきたい。

委員 日中一時は現在四国中央市には無いサービスだが、これからは「太陽の家」と「ことな」の2つができるということか。

事務局 そのとおりである。

委員 市の組織なので今後人事異動もあると思うが、このように入所施設の開始に向けて頑張ってくれている人が少しでも多く残り、誰もが安心して運営していけるようになることを願っている。

事務局 事務局としてもそうなるように人事当局と交渉していきたい。

委員 個人情報に関する同意書に、成人に達している同居家族が署名することとなっているが、仮に誰かが反対した場合はどうなるのか。

事務局 この同意書に関しては、入所検討会において相談支援事業所などから必要な情報を得る事などの個人情報の取り扱いについて同意を得るものであり、入所自体の同意ではない。

委員長 太陽の家の入所者募集及び決定方法について、事務局から提案のあった方法で進めていく事で異議ないか。

委員 なし。

(3) 議事 3 パレット・プランについて

- 事務局 《パレット・プランについて説明。内容省略》
- 委員長 事務局の説明に対し、意見や質問はないか。
- 委員 これだけたくさん事業をやっていくのに、今のパレットの人員体制で大丈夫なのか不安である。日中一時など、今後新たな事業にも取り組んでいくうえでは、人員体制も充実させたいので支援をしていただきたい。
- 委員 3歳児健診は健診の当日までに家で行う検査の項目が多く、本人や保護者、また家庭状況によっては検査が難しい家庭もたくさんあると思う。大切な検査ではあると思うが、結局それが出来ない状態では健診の意味がないのでどうにかならないか。また、育児で困った時にどのように対応したら良いかなどの情報を、例えばQRコードで示すなど、幅広い情報提供の方法を検討していただきたい。
- 事務局 3歳児健診については市の保健センターが実施している事業であり、いただいたご意見や要望はしっかりお伝えし、共有させていただく。
- 委員 pal制度の実情はどうなっているか。また具体的にどのようなことをしているのか。
- 事務局 パレットに相談に来られた若者の中で、パレットの様々な事業の手伝いをさせていただける方をpalとして登録し、ボランティアで活動していただいている。例えば、子育てフェスタのブースでの受付やパレットの環境整備、パレット・レターの編集などをしてもらっている。
- 委員 これから日中一時の事業も行っていく中で、送迎がネックになってくるのではないか。そういったところも担ってもらえたら、職員の数も限られている中で他の事に手を回せるし負担も減ると思う。高等部であれば新居浜の本校、小中学生であればみしま分校に通うようになると思うがバスでの送迎はしてもらえるのか。保護者も送迎はかなり大変であるため、バスの運転手の確保も今後必要になってくるのではないか。
- 事務局 今のところみしま分校のバスは利用者が多く、パレットは距離が近いこともあり恐らく難しいという話は聞いている。パレットにはワンボックスカーがあるので、みしま分校に関しては職員が直接送迎する方向で考えている。新居浜の本校はバスでの通学になるので、バス停までは職員がついて送っていく。公共交通の脆弱性は本市全体の課題であり、いただいたご意見は交通担当部局と共有しておきたい。
- 委員 評価するにあたって、それぞれの施策で現在具体的に取り組んでいる内容などは示してもらえるのか。施策が多岐にわたっていて、全く知らない分野もある。
- 事務局 施策の評価は次のプランに繋げていくためにも必要であるので、委員の皆様にもきちんと評価していただけるよう検討していきたい。
- 委員 評価はパレット職員による自己評価も含めて評価していくのか。また他の機関からのニーズ調査の予定はあるのか。
- 事務局 評価についてはパレットの職員と、委員の皆さまからの評価も合わせて総合的に行いたいと考えている。またニーズ調査についても具体的にどこにお願いするかまでは決まっていないが、様々なご意見をいただきながら進めていきたい。

(4) その他

①あったか子育てセミナーの開催について

事務局 《あったか子育てセミナー2025 の開催について説明。内容省略》
委員 意見・質問なし。

4 閉会

副委員 いよいよ入所施設の申し込みが始まるという事で、スムーズに進むことを願っている。建物は完成したが、やはり心配なのはソフト面の事である。子どもの支援には様々な課題もあるが、大人に向けた一貫した支援も必要である。入所できたから良しで終わるのではなく、入所の中でどのような支援ができるか、また18歳を迎えた時に次のステージにスムーズに繋がられるようにすることが大切である。色々なことが上手く繋がって回っていかないと、四国中央市の子ども達の将来は良い方向に向かって行かないと感じている。是非ソフト面についても、本日のようにたくさん意見を出し合いながら良くなっていく事を願っている。